

企画計画課…内線2214

ありたい未来を 実現するために

鎌倉市がどんな未来を目指していくのか、そのために何を大切にして、どんなことに取り組んでいくのか。「第3次鎌倉市総合計画 第4期基本計画」には、市が目指す「6つの将来目標」と、それを実現させるための取り組みが示されています。

今回の特別版では、その将来目標と考え方について、分かりやすく紹介します。



鎌倉の未来を共に創っていきましょう!

これからの時代は「共創」がキーワードになると考えています。生活者の視点に立ち、新たな技術や柔軟な発想を、市民・NPO・企業などさまざまな人たちと連携し実現することで、私たちのまちを暮らしやすく、快適に、そして市民一人一人が、身体的、精神的、社会的に良好な状態(well-being)となることを目指してこの計画をつくりました。

「このまちが好きだ」、「このまちを良くしたい」という人たちが集まり協力すると、まちの魅力は間違いなく高まります。次世代に責任をもって引き継げるまちを、皆でつくりましょう。

鎌倉市長 松尾 崇

※『第4期基本計画書 概要版』は、4月以降に行政資料コーナー（本庁舎3階）、図書館のほか、市ホームページでも閲覧できます。
なお、『第4期基本計画書』は、5月以降に発行予定です

この計画は市民の皆さんとともに考え、ともに創りました。

～第4期基本計画策定に向けた市民対話～

市民対話はこのような流れで進めていきました

第1回

地域の魅力を 集める

鎌倉市の魅力を9つの観点(モノ・コト・ヒト・トコロ・カコ・ミライ・ワザ・クウキ・シゴト)から集め、2030年を想定した「未来の新聞」で、本市の魅力が将来どのように取り上げられているかイメージを描きました。



「鎌倉市の将来像を描くための対話」

第2回

鎌倉市の ありたい姿を描く

持続可能なまちをつくるには、経済・社会・環境の1つも欠けることなく、互いに影響し合い、好循環が生まれることが重要です。そのため、第2回では経済・社会・環境の3つの観点ごとに分かれてチームをつくり、それぞれの観点ごとに2030年の鎌倉市のありたい姿を考えました。

第3回

共創のための 問いを生み出す

5地域ごとのチームに分かれ、2030年のありたい姿の実現に向けて共創活動を生み出すための「問い」を作成しました。

こんな「問い」があげられました!

どうすれば、多世代の交流の場をつくれるだろうか?

どうすれば、鎌倉市民全員が防災訓練に参加できるようになるだろうか?

第4回

共創アイデアを 探索する

第3回で生まれた「問い」ごとに分かれ、「問い」に答えるプロジェクトアイデアを企画し、最後に、応援したいと思うプロジェクトアイデアに投票しました。現在も対話を継続しています(「おかわり」シリーズ)。



市民対話
各回のレポート



市民対話
「おかわり」

「鎌倉市の将来像を実現するための対話」

第4期基本計画策定

② 歴史を継承し、文化を創造するまちへ

鎌倉が世界に誇る歴史的・文化的な資産を守り、未来に引き継ぐとともに、これを生かしながら、新しい文化を創造し、全国や世界に発信するまちを目指します。

歴史環境



そのために

- 文化財指定や登録を進めるとともに、保管場所や専門的人材の確保に努めます。
- 豊富な文化財や歴史的遺産をつなぎ、鎌倉のまち全体を博物館(エコミュージアム)とすることを目指します。

文化



そのために

- 市民が質の高い芸術にふれることができるよう、鎌倉の文化の研究と文化事業の充実を進めます。
- 鎌倉ゆかりの文化芸術を広く市民や訪問者へ知らせるとともに、後世に伝えます。

④ 健やかで心豊かに暮らせるまちへ

鎌倉の次世代を担う子どもたちが健やかに育ち、生きる力を育み、自立できる環境づくりを進めます。また、多様性を認め、誰もが生涯にわたって元気で自分らしく、安心して住み続けられる地域を目指します。

健康福祉



そのために

- 市民が互いに「支え」、「支えられ」、誰もが役割と生きがいを持てる仕組みをつくります。
- 市と地域包括支援センターなどの関係機関が連携し、包括的かつ総合的に相談・支援を行う仕組みづくりを進めます。
- 高齢者や障害者等の就労支援、医療・セーフティネットの確保等により、すべての市民が健康で安心して暮らせる環境づくりに取り組みます。
- 人生100年の長寿社会に対応し、健診・医療・介護に関するさまざまなデータを活用することで、市民の健康づくり・介護予防に取り組みます。

学校教育



そのために

- 学校・教育委員会・家庭・地域・市のきめ細かな連携により、安全・安心な教育環境をつくります。
- ICT*教育、郷土学習、国際理解教育や創造的思考力の育成を積極的に進めます。
- 生徒一人一人のニーズや個性に応じた教育を進め、また、すべての子どもたちが多様性を認め合い、地域で共に学べる環境をつくります。
- 学校規模の適正化や再編、施設の老朽化対策など、学校施設の計画的な整備を進めます。

生涯学習



そのために

- 教育機関・企業などとの連携により、多世代の多様な生涯学習ニーズに対応します。
- 世代を超えて市民同士がふれ合い、交流できる学習の機会を提供します。

子育て



そのために

- すべての子どもが健やかに成長できるように、子どもによって異なる課題に対応した支援を行います。
- 児童虐待防止や子どもの貧困対策に取り組みます。
- 妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行います。
- 保育環境や放課後環境の充実を図るとともに、親子で気軽に集い、子育ての悩み相談もできる環境づくりに取り組みます。

青少年育成



そのために

- 青少年が多様な体験・活動や人々とのかかわりを通じて、自立・参画・共生していく基礎を育む居場所づくりを支援します。
- 地域で青少年を育てる風土をつくり、成長の段階にあわせた社会参画の機会をつくります。

スポーツ・レクリエーション



そのために

- 市民スポーツ・レクリエーションの推進により、市民がスポーツを習慣化するきっかけづくりに取り組みます。
- アマチュアスポーツ・生涯スポーツを支える団体の支援・育成とともに、スポーツ活動を支援・指導する担い手を育成します。
- 市民大会等の開催やトップアスリートなどから指導を受ける機会を提供します。

市が目指す6つの将来目標

本市の取り組みをSDGsの目標や具体的なターゲットと合わせて示しています。

① 人権を尊重し、人との出会いを大切にすまちへ

すべての市民が、平和を大切にするとともに、一人一人の個性と人権をお互いに尊重する社会を目指します。また、国籍や民族の違いを理解し、支え合う共生社会を目指します。

平和

そのために

- 市民に身近な場で平和について考える機会を提供します。

人権

そのために

- 人権に関する理解を深めるとともに、人権に関する相談体制を充実します。
- 政策や方針などの意思決定の場に女性が参画し、意見が反映される社会をつくりまします。

多文化共生社会

そのために

- 国際理解教育などを通じて、国籍や文化が異なる人たちとともに生きることの大切さへの理解を深めます。
- 外国籍市民への行政情報の提供や、学校教育の場での対応を充実します。



③ 都市環境を保全・創造するまちへ

鎌倉で暮らし、活動するすべての人々の協力のもと、豊かな自然や美しいまち並みなどの都市環境を守り、つくり、育て、地球環境に負荷をかけない、持続可能なまちを目指します。

みどり

そのために

- 緑の維持管理や市民の緑化推進活動の支援などにより、緑の質の充実を図ります。
- 老朽化した公園施設の計画的な修繕や更新を図ります。



生活環境

そのために

- 3R*の取り組みを継続・強化し、特に「かまくらプラごみゼロ宣言」に基づき、使い捨てプラスチック製品を利用しないように働きかけていきます。
- 多様な市民生活に対応した分別・収集体制の構築とともに最新技術の活用などにより、環境に配慮した安定的で効率的なごみ処理体制を構築します。
- 低炭素社会*の構築に向け、効率的なエネルギー利用の促進、再生可能エネルギーの地産地消の導入による循環型社会の構築、環境教育の充実、環境保全活動に取り組みます。



都市景観

そのために

- 歴史的な建物やまち並みなど、地域の個性を生かした魅力的な景観づくりに取り組みます。
- 「歴史的風土保存計画」と「鎌倉市風致保全方針」に沿って、良好な自然環境と歴史的風土の保存を図ります。

※用語解説

- 3R…Reduce (リデュース・削減)、Reuse (リユース・再利用)、Recycle (リサイクル・再生利用)の3つのRの総称
- 低炭素社会…社会経済活動その他の活動に伴って発生する二酸化炭素の排出を抑制し、並びにその吸収作用を保全し、強化した社会
- ICT…情報処理や通信技術の総称

⑤ 安全で快適な生活が送れるまちへ

防災や防犯、交通安全とともに、道路、下水、河川、住宅など都市インフラの整備と適切な維持管理により、市民が安全で安心して生活できる環境をつくります。また、快適で活力のある市街地整備、都市空間の創造を目指します。

防災・安全



そのために

- 自助・共助・公助の役割分担と連携により、総合的な災害対策に取り組みます。
- 建物の耐震化、危険なブロック塀の除去支援とともに、防災知識の普及や自主防災組織の育成強化などにより、災害に強い地域づくりを進めます。
- 多様なニーズに配慮した避難所の体制整備を進めます。
- 市民の防犯意識の向上のための啓発や、地域全体で子どもの安全を見守る活動の推進により、犯罪に強い地域をつくります。

総合交通



そのために

- (仮称) 鎌倉ロードプライシング*とともに、誰もが快適に移動できる環境を整備します。
- 生活道路を通過する車両の進入を抑え、歩行者優先の交通環境をつくります。

下水道・河川



そのために

- 公共下水道の整備とともに、計画的な改築・更新に取り組めます。
- 浸水対策として雨水貯留施設の設置を進めるとともに、下水道施設の耐震化、津波対策を進めます。
- 河川・水路の適切な維持管理と計画的な整備を進めます。

市街地整備



そのために

- 地域の個性や特色を生かした、市民が主役のまちづくりを進めます。
- 自然災害への備えとともに、災害発生後の復旧・復興力を備えたまちづくりを進めます。
- 鎌倉のまち並みや歴史、文化との調和に配慮しながら、AIやIoT*など、日常生活に寄り添うテクノロジーの活用による未来志向のまちづくりを進めます。

道路整備



そのために

- 歩行空間の確保、バリアフリー化、無電柱化の実施に向けた検討を進めます。
- 道路・橋・トンネルの計画的な維持修繕を行います。

住宅・住環境



そのために

- 高齢者や障害者も住みやすい市営住宅の供給や民間賃貸住宅への入居が困難な人をサポートする居住支援体制の構築を行います。
- 関係団体と連携して、空き家に関する相談体制を構築するとともに、良質な空き家の有効活用を支援します。

※用語解説

- IoT…Internet of Thingsの略で、モノのインターネットのこと
- ロードプライシング…交通渋滞の解消等を図るために、課金によって自動車交通量を減らし、道路を円滑に走行できるようにする方策

⑥ 活力ある暮らしやすいまちへ

農業や漁業などの一次産業の保護・育成とともに観光振興による地域活性化など、鎌倉ならではの環境と調和した産業の活性化を目指します。また、市民の多様な働き方の支援、技能の奨励・継承とともに、消費者教育の推進により、活力ある暮らしやすいまちを目指します。

産業振興



そのために

- 農業・漁業の支援とともに、農産物の鎌倉ブランドの認知度向上や水産物のブランド化に取り組めます。
- 経営相談や融資・補助制度の充実等に取り組めます。
- 深沢地域整備事業や低・未利用な公的不動産を活用した企業誘致に取り組めます。
- 伝統的工芸品である鎌倉彫の保護・育成に取り組めます。

勤労者福祉



そのために

- 就職を目指す市民のライフステージやニーズに合った就労支援を実施します。
- 技能者の育成や後継者の確保を支援します。

観光



そのために

- 新たな観光資源の発掘と情報発信により、観光客の滞在時間の長時間化と、観光消費の拡大に取り組めます。
- ホスピタリティを大切にした観光施設の整備を進めます。
- 市民・事業者のホスピタリティの向上とともに、観光客のマナー向上に取り組めます。

消費者対策



そのために

- 市民一人一人が消費者として、地球環境や社会について考え、行動するための情報提供と支援を行います。
- 消費者被害の未然防止、被害拡大防止に向け、啓発機会の充実や消費生活相談体制の充実に努めます。

